



| |
|-----|
| 090 |
| 101 |
| |

寫尾
藏書

善善紙或指云冊
教後所子依方其外也

所成

所至迴所國中

所佛諸所陽派

所精

所及系

所一門氣象至二

未竟

一

未竟

一

未竟

一

本殿少史为丹

张尔高普

大度巡按使

唐弘德初

以清夏存社出勤

墓所

五集

同

未定

未定

是

未定

是

未定

是

未定

是

同

作子

古学子徽徽在介

德在江渡

塔台德入象佛受几线

香真朴理善似社系

俊附德人江

驾筑新上物拿

未定

未定

是

未定

是

未定

是

小島

山後坊方成

為人完

乃安月代

此苑用白皮出

徑長五尺

同

亦也

未之

披之

披之

披之

披之

是

是

是

是

未之

披之

披之

是

是

是

即地下之離去之陽法交

神交此苑事

此合生外此出用此同村

此陸同村

此同村

此別坊坊

府出而

一 寺後同坊

未之

是

未之

是

一 但此山行路極險峻今相識者必在

右月山陰月村

一 後月山行路極

一 山是逼塞山門

一 處也

一 同

一 中乃在若卷中

一 此山行路極險峻今相識者必在

未定
乞

未定
乞

未定
乞

未定
乞

書卷後月村書

青島紙內板書

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

二二二二

紙の紙の紙

紙の紙の紙

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

一 紙の紙の紙

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

一 紙の紙の紙

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

右の紙は右の紙と同一の紙に、右の紙の紙に

一 紙の紙の紙

右の如く紙を毎三枚一冊
とす

右の如く紙を毎三枚一冊
とす

右の如く紙を毎三枚一冊
とす

右の如く紙を毎三枚一冊
とす

右の如く紙を毎三枚一冊
とす

右の如く紙を毎三枚一冊
とす

一 右の如く紙を毎三枚一冊
とす

一 右の如く紙を毎三枚一冊
とす

一 右の如く紙を毎三枚一冊
とす

一 右の如く紙を毎三枚一冊
とす

一 右の如く紙を毎三枚一冊
とす

一 右の如く紙を毎三枚一冊
とす

一 右の如く紙を毎三枚一冊
とす

大正九年

一 西條町長に在りては、町民の福利を第一とし、町政の刷新を期す。町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。

一 町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。

町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。

町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。町民の生活の向上に努め、町民の健康を維持し、町民の教育を奨励す。

此後程家九元古程之入田馬之村人
程氏之具足程氏之持程氏之人也
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人

此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人

此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人
此人之舍程氏持之入程氏之人

程氏

心法

常憲院極權也圖是誠身月九方寸是
文昭院極權也圖是誠身月九方寸是
誠身月九方寸是誠身月九方寸是
文昭院極權也圖是誠身月九方寸是
橫目之志也誠身月九方寸是誠身月九方寸是

九方寸

色 誠後
色 誠後
色 誠後

色 誠後

井 誠後

誠後

心法
誠身月九方寸是誠身月九方寸是
誠身月九方寸是誠身月九方寸是
誠身月九方寸是誠身月九方寸是
誠身月九方寸是誠身月九方寸是

氷上川水音牙一子石結成後中修り
十月部之志方山陰國村之新修り
後度山部音牙一子石結成後中修り
後度山部音牙一子石結成後中修り
後度山部音牙一子石結成後中修り
後度山部音牙一子石結成後中修り
後度山部音牙一子石結成後中修り
後度山部音牙一子石結成後中修り
後度山部音牙一子石結成後中修り
後度山部音牙一子石結成後中修り

大分県

一 大分県 瀬田 岩手 紙 山 園 原 山 子 丸 死

山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り

一 山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り

山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り
山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り

山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り

一 山 部 音 牙 一 子 石 結 成 後 中 修 り

禁之通書其法以之是院下酒及...

此後不若中

村對及...

如外如德...

右之通書...

右之通書...

右之通書...

右之通書

一 桂能...

一 敬...

此...

此...

此...

此...

此...

天竺

一 諸君の事

所名氏對之度正所之廣國故是
在中之如 然也 諸國分也 中國廣也
上之也 此 運 此 故 幸 社 幸 口 美 矣 之 也
以 月 對 之 事 之 廣 矣 之 廣 矣 之 廣 矣
之 對 之 事 之 廣 矣
何 意 志 之 廣 矣 之 廣 矣 之 廣 矣
之 廣 矣 之 廣 矣 之 廣 矣

天竺

天竺

一 所名氏對之度正所之廣國故是

所名氏對之度正所之廣國故是

天竺

一 諸君の事

天竺

所名氏對之度正所之廣國故是

所名氏對之度正所之廣國故是
所名氏對之度正所之廣國故是
所名氏對之度正所之廣國故是
所名氏對之度正所之廣國故是

258

一 尚書館教員中... 十日... 尚書館... 文部省... 書院...

一 尚書館教員中... 十日... 尚書館... 文部省... 書院...

一 尚書館教員中... 十日... 尚書館... 文部省... 書院...

一 尚書館教員中... 十日... 尚書館... 文部省... 書院...

一 尚書館教員中... 十日... 尚書館... 文部省... 書院...

右の如く... 月... 年... 日... 時... 分... 秒...
ト云... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...
中... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...
右... 月... 日... 時... 分... 秒...
ト云... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...

右の如く

ト云

右の如く... 月... 日... 時... 分... 秒...
ト云... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...
中... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...
右... 月... 日... 時... 分... 秒...
ト云... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...

右の如く

ト云

右の如く... 月... 日... 時... 分... 秒...
ト云... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...
中... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...
右... 月... 日... 時... 分... 秒...
ト云... 月... 日... 時... 分... 秒...
と云... 月... 日... 時... 分... 秒...

大のり

一 之條云云... 所由之由... 毎々... 年... 大のり

一 之條云云... 此の... 其の... 大のり

一 之條云云... 大のり

大のり

一 之條云云... 大のり

所必也... 在... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

隙入る身は己の心なる方と心なる方と
中身は己の心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と

一
心なる方

心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と

心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と

一
心なる方

心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と
心なる方と心なる方と心なる方と

書抄抄宛元年一 志心通果心通抄

古の事

不及是如河法家之申
皇承和皇十月初七日申
是年八月廿七日申

所記之方之申
月分是年八月廿七日申

此義之申
何由故所感獲之申

申
申
申

古の事

一 皇承和皇十月初七日申

考抄申而志心通果心通抄

申
申

申
申

申
申

申
申

申
申

申
申

申
申

申
申

申
申

申
申

藤の南庭を流す中川のほとり

一塔のあり方とて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり

此の寺書に中分して大徳寺なる一層の塔あり

右の寺書に

一塔のあり方とて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり

右の寺書

一塔のあり方とて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり

中

一塔のあり方とて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり
に塔のありて宛中川にありて其の二重
寺人は其の南庭を流す中川のほとり

一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無
し。又申付候事無し。又申付候事無し。
一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無し。又申付候事無し。又申付候事無し。
一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無し。又申付候事無し。又申付候事無し。
一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無し。又申付候事無し。又申付候事無し。

一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無し。又申付候事無し。又申付候事無し。
一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無し。又申付候事無し。又申付候事無し。
一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無し。又申付候事無し。又申付候事無し。
一 嘉永六年正月七日 宿願寺より書付
此後是より外に申付候事無し。又申付候事無し。又申付候事無し。

方寸間の海を舟に乗りて遊ばしむるは、
遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、

一書

西遊記の事、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、

一書

舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、

一書

舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、
舟に乗りて遊ばしむるは、舟に乗りて遊ばしむるは、

如中... 乃... 其... 少... 万... 中... 以... 口... 上...

如... 乃... 其... 少... 万... 中... 以... 口... 上...

Vertical text on the left margin of the left page.

多事係成九三言然否之否第每以爲之誤也
未始足之於此也

此段文字係用草書寫成，內容與上方文字相呼應，但筆跡較為潦草，部分字樣難以辨認。其內容大致可推測為對上方文字之進一步闡述或修正。

